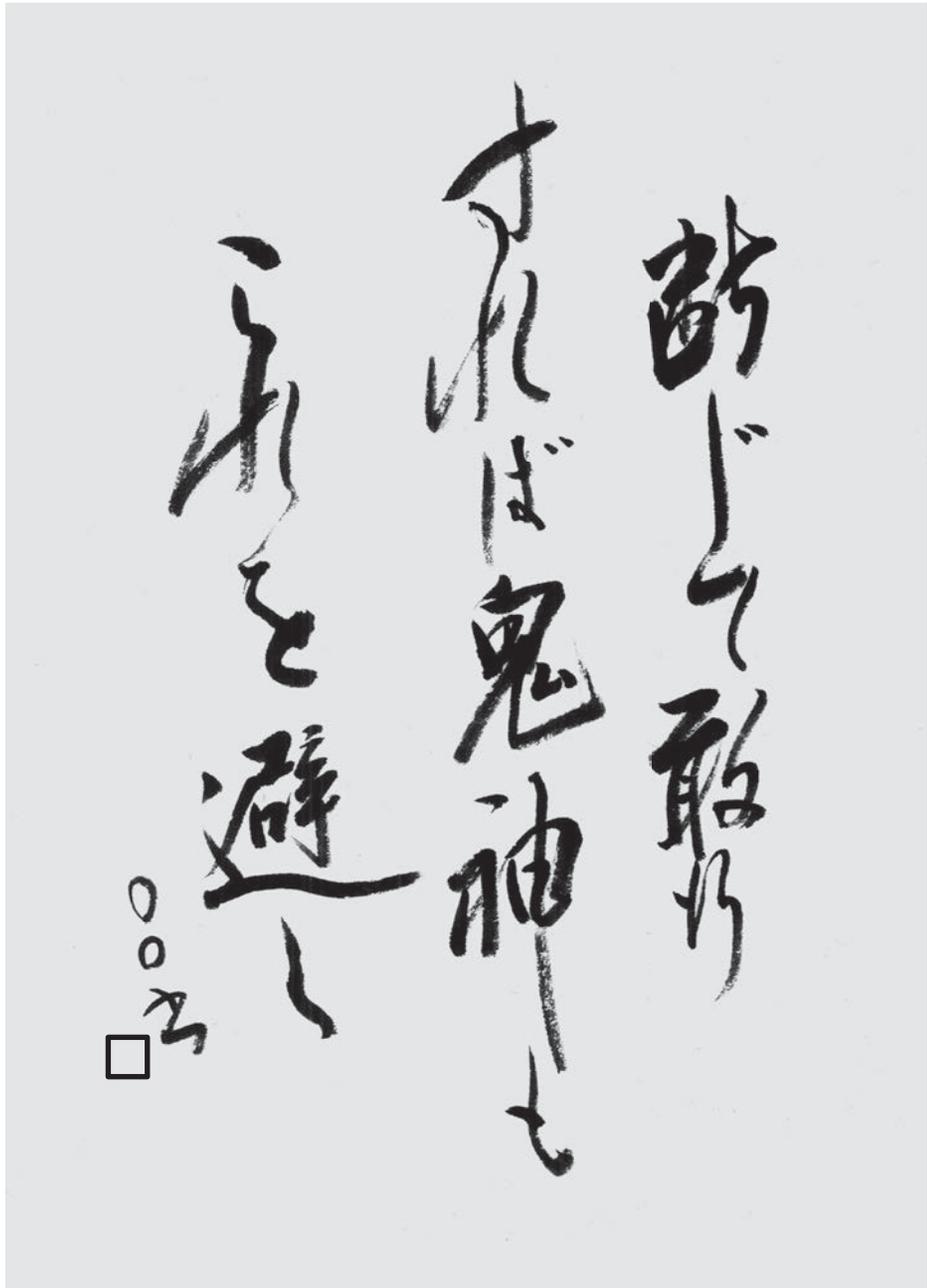


調和体を書く (12)

締切り 十二月十九日 (必着)



奥村憲照先生書

回作品の出し方

- ▼硬筆部 B5判 (二五七mm×一八二mm) 以下の紙に書いて下さい。用具は自由です。(黒色に限る)
- ▼毛筆部 B半紙に書いて下さい。(筆ペン可)
- ▼出品制限の対象とはしませんが、出品は硬毛のどちらか一方に限ります。

- ▼事務処理上、支部略称・氏名・会員番号・硬筆規定の成績(毛筆の場合は毛筆漢字の成績)を、作品余白にお書き下さい。
- ▼優秀作品は、写真版として成績表の後ろに掲載しますが、成績表での順位発表はしません。

◆書道のジャンルには、大別して「漢字」「かな」「漢字かな交じり書」の三つがあります。

◆現代日本の文章表現は全て漢字かな交じり書ですが、ここでは芸術的創作作品を指し、「調和体」「近代詩文」として書展の一部門を占めています。

◆読める書として人気を高めています。が、古典といわれるものがない故に書法はまだ確立しておらず、各団体で新和様・新書芸などのいろいろな呼称で研究が進められています。

◆今回のお手本は、前会長奥村憲照先生が(財)日本書道教育学会に關係していた頃の「新和様」のお手本です。本誌初登場です。

◆読めてかつ、書格の高い作品を目指して研究してまいります。

〔読み〕

断じて敢行すれば
鬼神もこれを避く

〔解説〕

- ① 可読性を大切に。
 - ② 変体仮名・連綿はなるべく控える。
 - ③ 構成を工夫してみよう。
- ※「○○書」はご自分の名をお書き下さい。印のない方は、赤ペンで口を書き入れて下さい。

準初段から六段まで

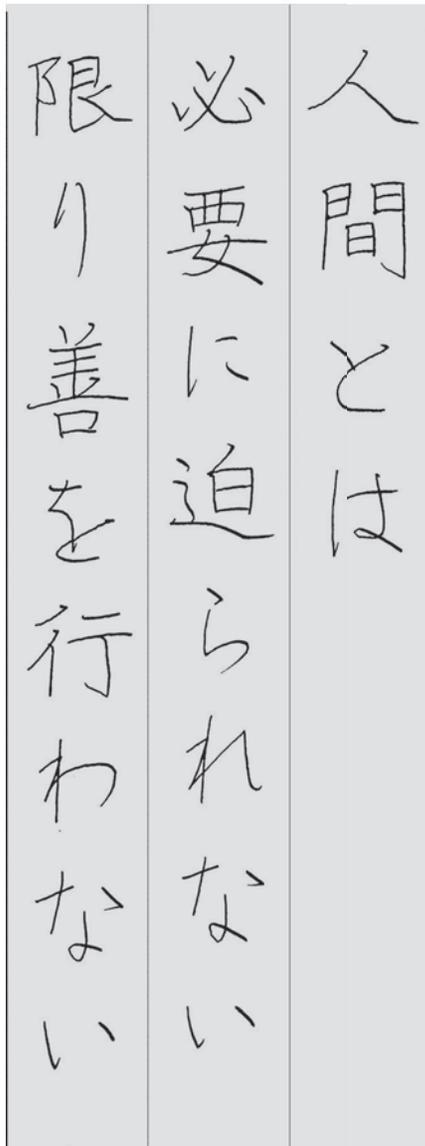
新入から1級まで

〔解説〕



◎今月は楷書です。古語に「楷書三年」という言葉があります。楷書だけ、みっちり練習せよという意味。書道にとって、それ程大切なものです。がんばって練習して下さい。

▶教範・書範は右課題を「行草または草書」で、師範は「行書」で出書して下さい。

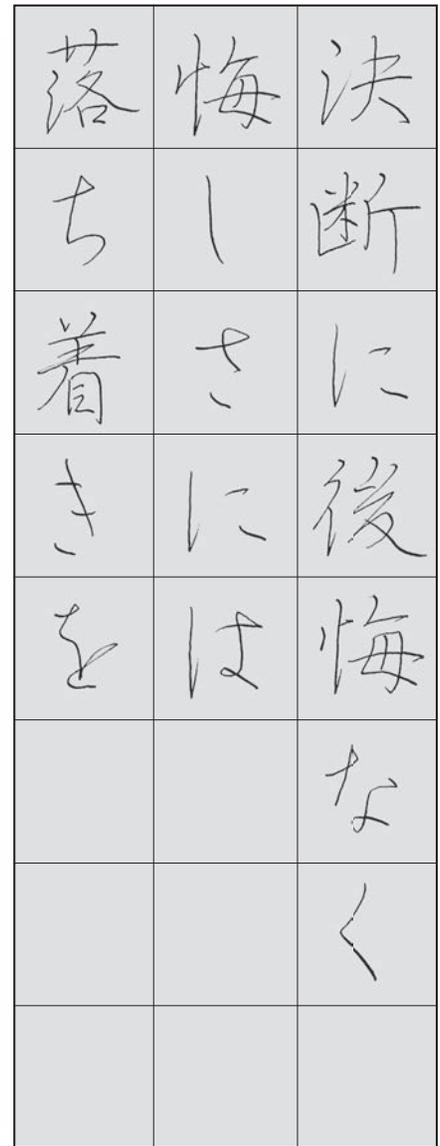


おか だ りゅう ほう 書
岡 田 龍 芳 書

▷用具=自由(黒色に限る)

▷用紙=本会段位用紙

〔解説〕



おお たに せい じょう 書
大 谷 清 城 書

▷用具=自由(黒色に限る)

▷用紙=本会級位用紙

- ◆1月課題予告(行書)
人に勝たんと欲する者は必ず先ず自ら勝つ
- ▼教範・書範Ⅱ楷書
- ▼師範Ⅱ行草または草書

★人間とは：(書体Ⅱ楷書)
マキャベリ(二四九-二五七)
イタリアの政治思想家・君主論
人を規制している道徳や法律がなく
なったらどうなるでしょうか。誰もか
れもやりたい放題で、たちまち混乱と
無秩序な社会に陥るでしょう。
そうやって、初めて人はそれではい
けないと気づき、必要に迫られて善を
行うことになると言っています。

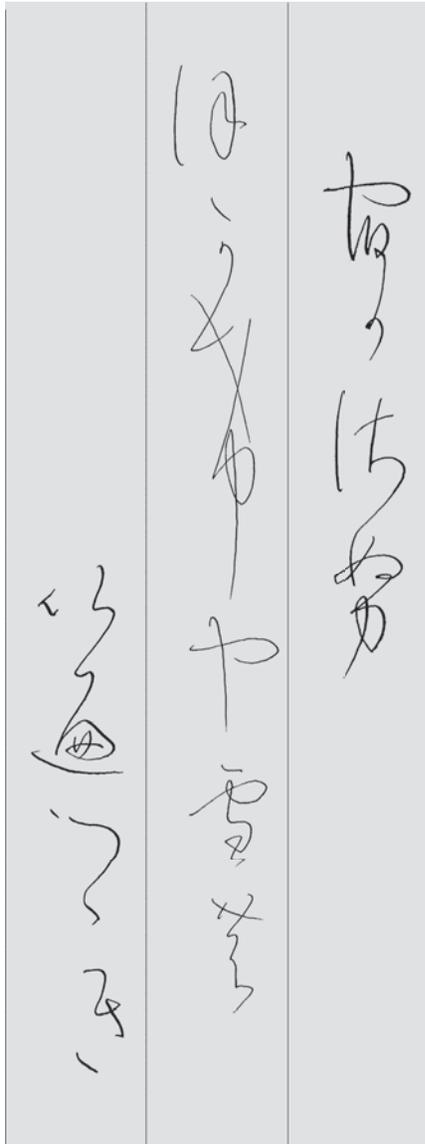
- ◆1月課題予告(楷書)
人間の営みは
全て幸福を
掴む事につきる

★決断に：(書体Ⅱ行書)
大山康晴(二五三-二五九)
将棋棋士
どんなことにも決断力は欠かせませ
ん。決断力が鈍ると迷い、ミスを引き
起こしやすくなります。
これは将棋でも同じで、名人位まで
昇りつめた大山康晴は平常心と決断力
の兼ね合いが大切であると言ってお
り、日常生活でも注意したいところ
です。

準初段から六段まで

新入から1級まで

宿^可か^佐さ^努ぬ^保燈^可影^希や雪の^農家^以つ^遍ゞ^川ゞ^州き



た なか き こう 書
田 中 貴 光

▷用具=自由(黒色に限る)

▷用紙=本会段位用紙

宿^可か^本さ^可ぬ^介燈^乃影^以や雪の^へ家^徒つ^本ゞ^介き



た なか き こう 書
田 中 貴 光

▷用具=自由(黒色に限る)

▷用紙=本会級位用紙

■両課題とも、文字の変換・配字は自由です。

◆1月課題予告

冬^{ふゆ}枯^{がれ}や雀^{すずめ}のありく戸^と樋^ひの中

(炭^{たん}太^{たい}祇^ぎ)

〔解説〕「へ」は左右の矢印あたり
に筆圧をかけ、途中曲がる
るところと最後に筆圧を抜く。

徒^つ 農^の 希^け 本^ほ 佐^さ
徒^つ 農^の 希^け 本^ほ 佐^さ
徒^つ 農^の 希^け 本^ほ 佐^さ
徒^つ 農^の 希^け 本^ほ 佐^さ

〔古筆参考〕

「鑑賞」『宿かさぬ』は非情のようだが、
当時無頼^{ぶらい}の行脚^{あんぎゃ}俳人が多く入り込み、
住民は迷惑し旅人に宿を貸さなかった
らしい。無情な人間も美化し燈火を賛
嘆する客観的唯美主義がみられる。

宿^ほか^かさ^かぬ^か燈^か影^かや雪の^{ゆき}家^いつ^いゞ^いき

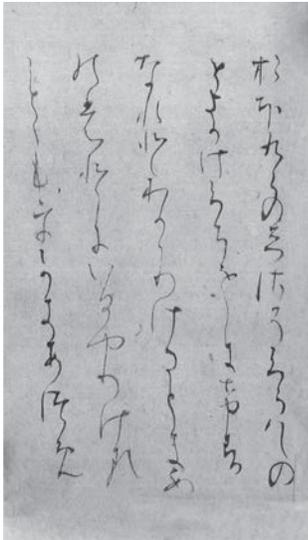
(与^よ謝^さ蕪^ぶ村^{そん})

締切り 十二月十九日(必着)

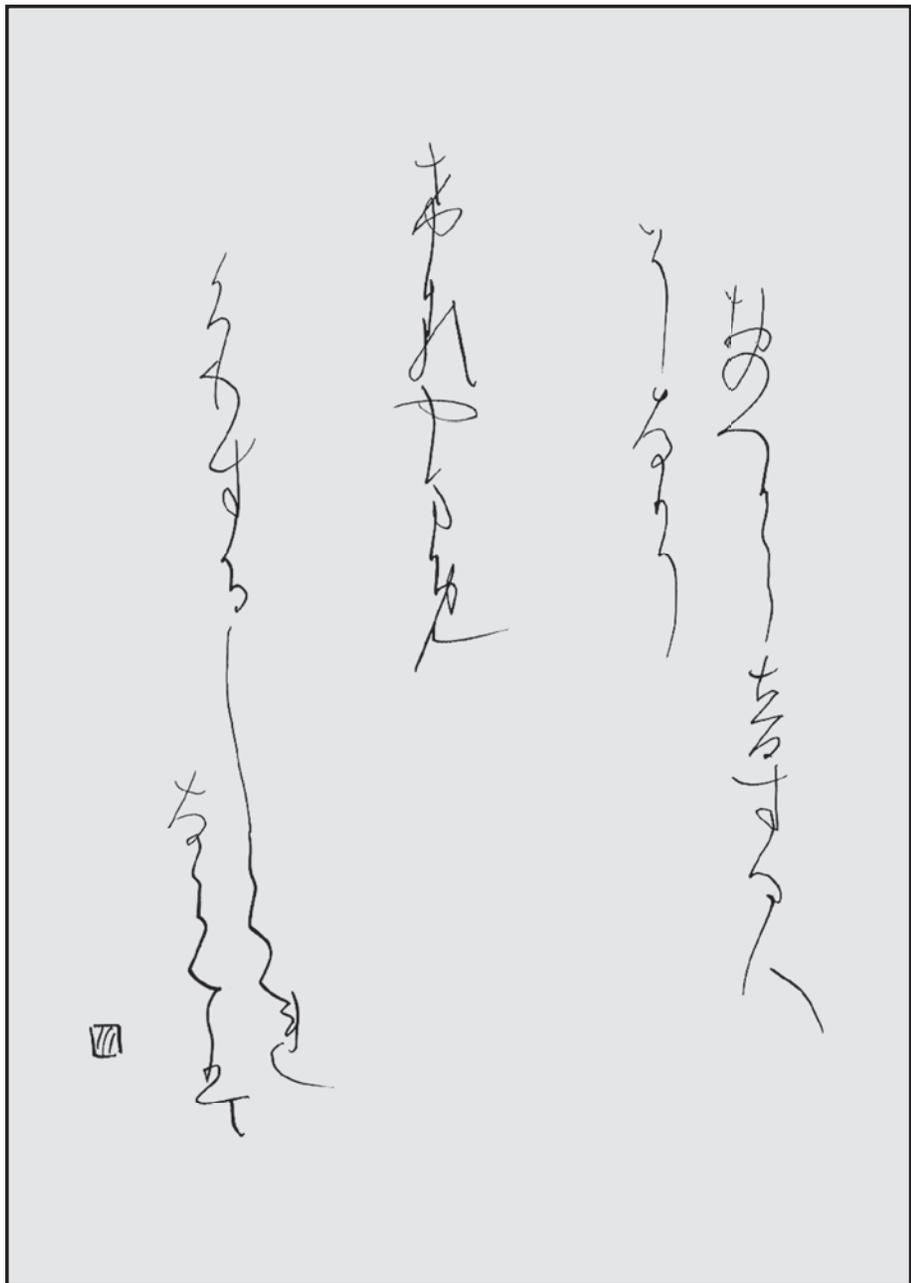
築瀬舟香書

〔古筆参考〕

いちじょうせつしょうしゅう
一条撰政集



おほくらのしさをくらはし
おほくらのしさをくらはし
とよかけ、くちをしきげす
なれど、わかりけるとき、女
のものとにひやりける
ことどもをかきあつめ

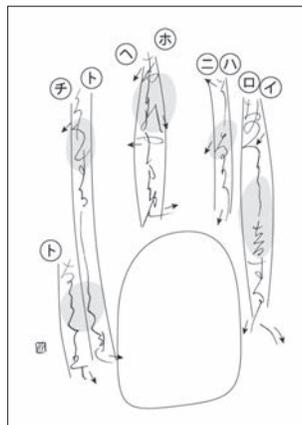


おのづからおとする人ぞなかりける
山めぐりする時雨ならでは

〔歌意〕山めぐりをする時雨の降る音
以外は、こんなひっそりとした所と
て、当然のことながら訪れてくれる人
もないことである。

〔出典〕山家集(新潮日本古典集成)

〔解説〕



- ①と②、①と③、①と④、①と⑤、
それぞれ呼応。
- 余白大切。
- 行の中の粗密大切。
- の指向性大切。

◆1月課題予告

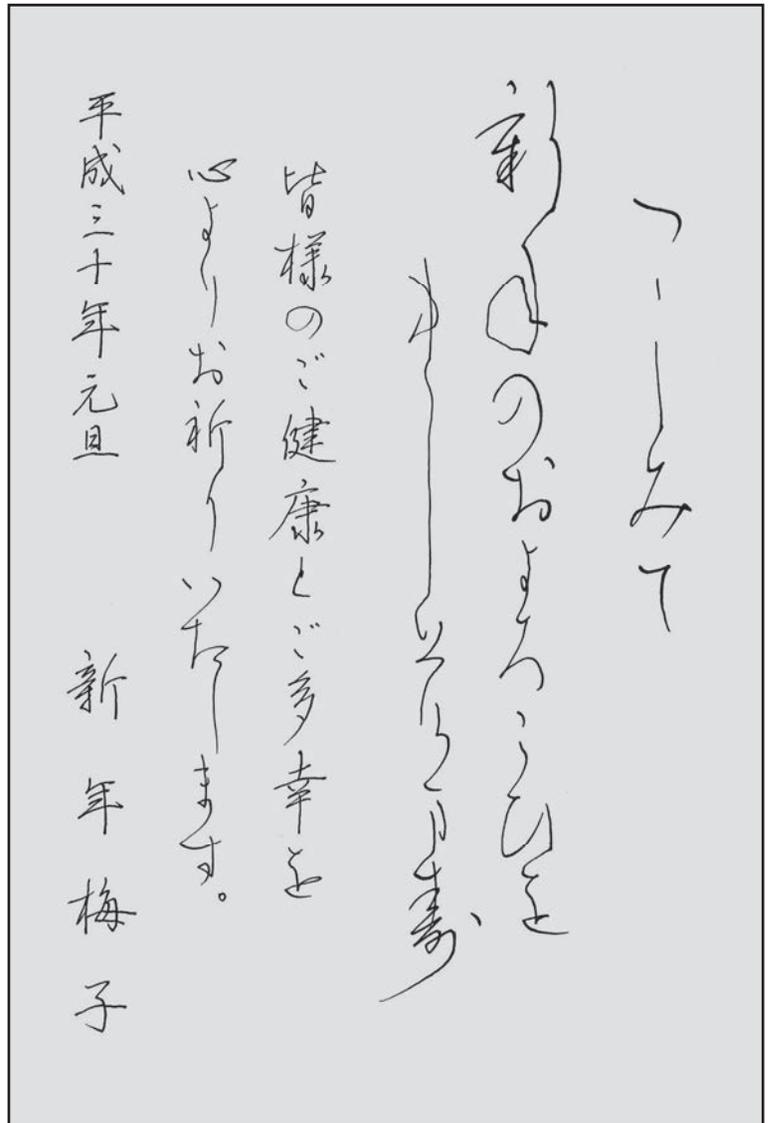
おほぞら
大空は梅のほかに霞つつ
曇りもはてぬ春の夜の月

締 切 り 1 2 月 1 9 日 (必 着)

自 由 課 題

- ◆ 今月は、文章も自由といたします。
- ◆ 皆さんのアイデアを生かして自由
に創作して下さい。
- ◆ バラエティに富んだ、個性豊かな
年賀状をお待ちしています。

つ つ し み て
新 年 の お よ る こ び を
申 し 上 げ ま す
皆 様 の ご 健 康 と ご 多 幸 を
心 よ り お 祈 り い た し ま す
平 成 三 十 年 元 旦 新 年 梅 子



横 書 き 課 題

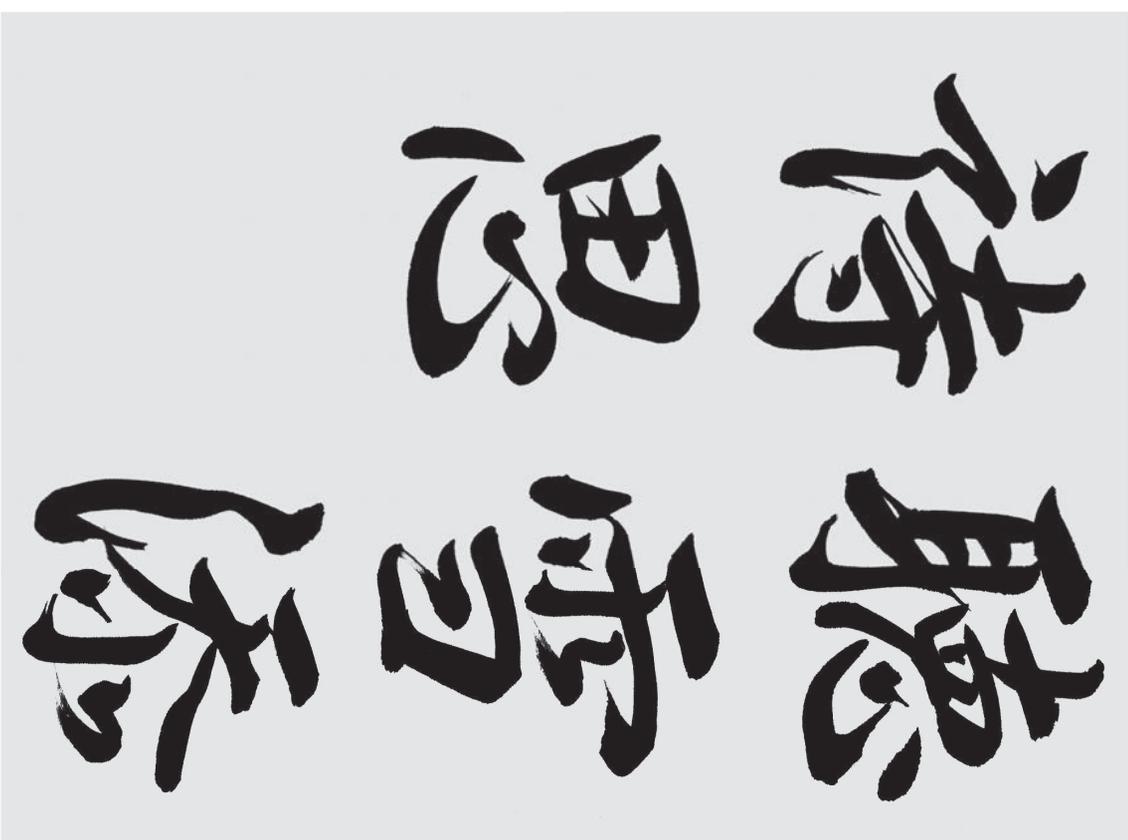
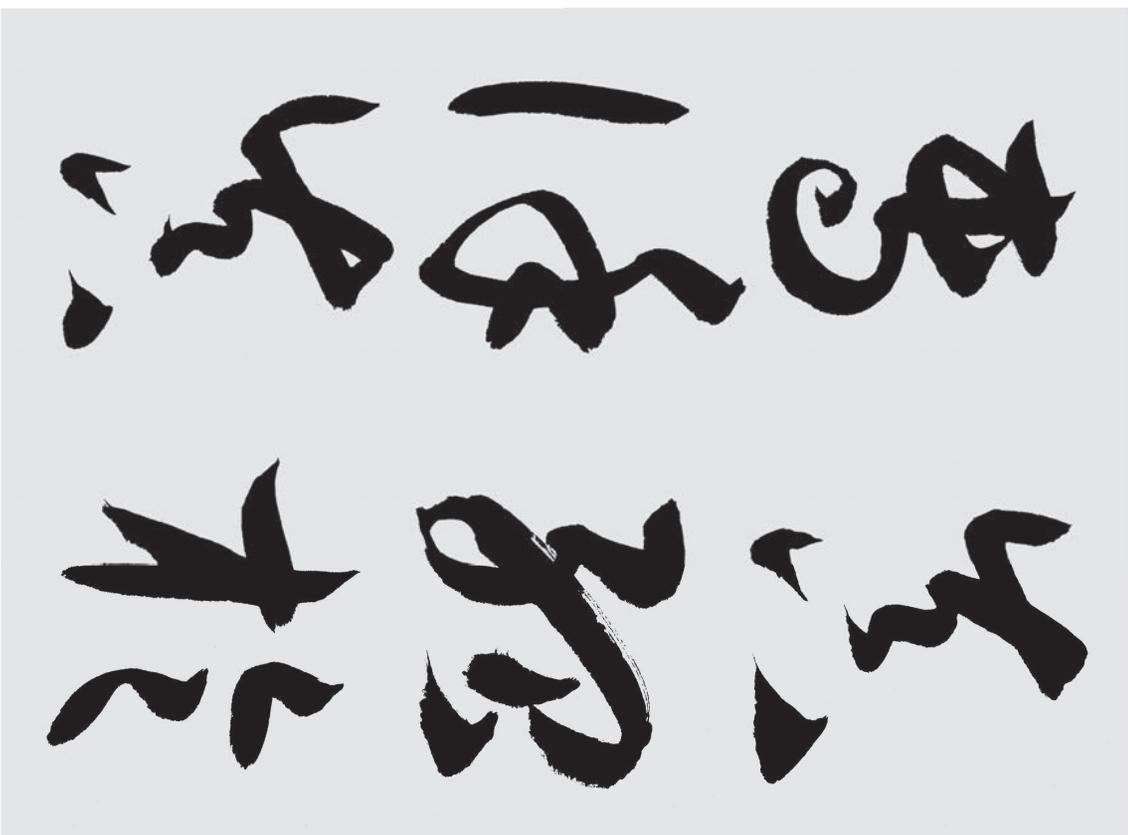
平 安 中 期 の 書 家 小 野 道 風 は 三 跡 の
一 人 で ， 和 様 書 の 基 礎 を 築 い た 。

岡 山 県 倉 敷 市 氏 名

※ 手本はつけペン使用。 ★ 三行目は、指定の地名と氏名を書いて下さい。

一般部毛筆漢字課題

締切り 12月19日(必着)



準初段から師範まで

新入から1級まで(行書)

奥村暢之 臨

須田一葉 書



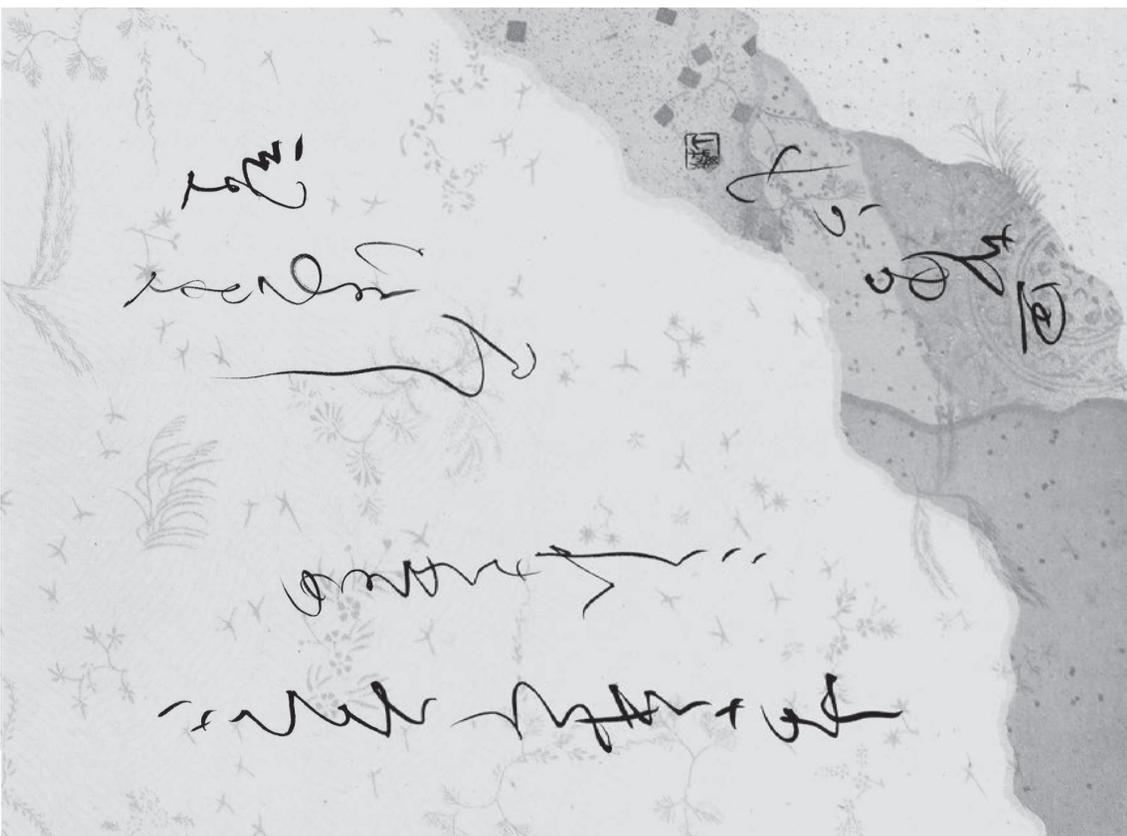
【出典】 書譜 (687) 【筆者】 孫過庭 (648?~703?)
 【読み】 真を (兼ねずんば) 專謹に始く、真のみにて

【読み】 雪を聴いて詩思を添う
 【大意】 しんしんと降る雪の音を聴くと詩興がわく。

一般部毛筆かな課題

締切り 12月19日(必着)

※検定試験三段コース以上を兼ねる。



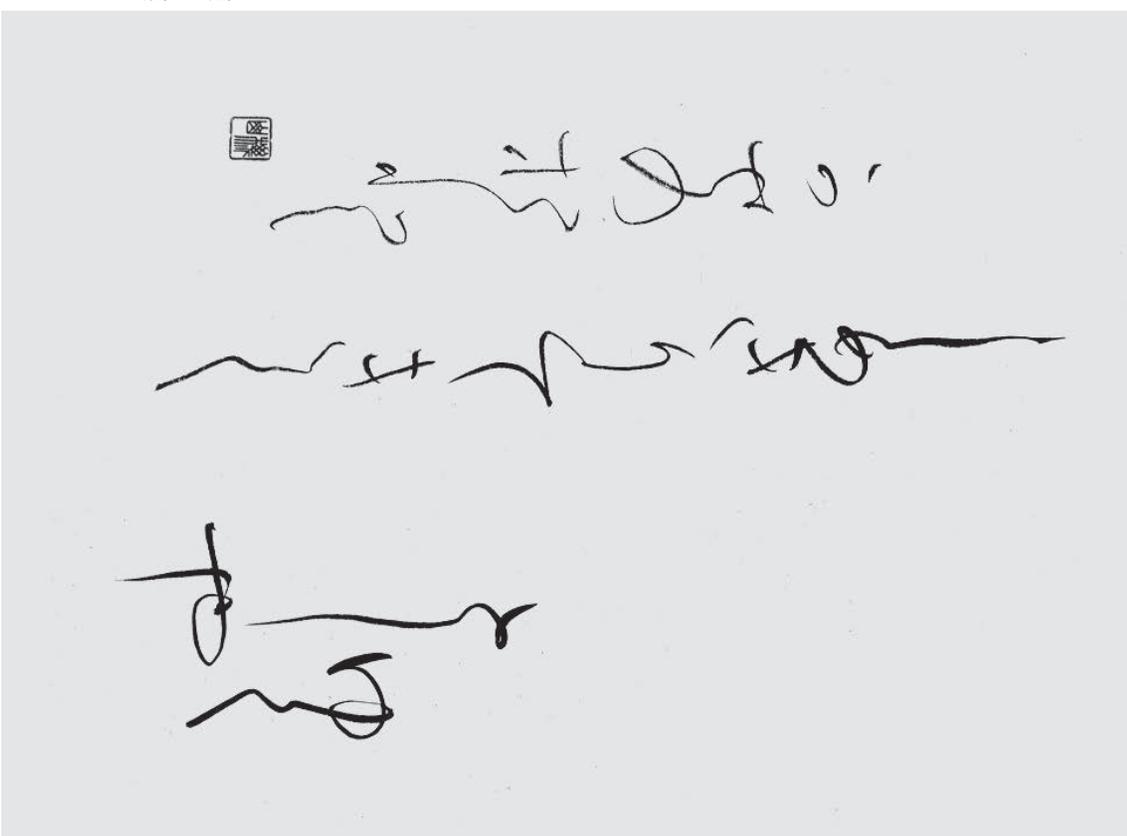
ふりさけてみかづきみれば一目見し
利 遊 三 者 並 ども
 人の眉引き思ほゆるかも
ひ 互 互 本 可 可

【出典】 大伴家持

【歌意】 ふり仰いで三日月を見ると、一目見たあの人の眉の様子が思われてくることだ。

準初段から師範まで

※検定試験1級コースを兼ねる。



ゆく年やしめきりてきく風の音
比 可 後

【出典】 久保田方太郎

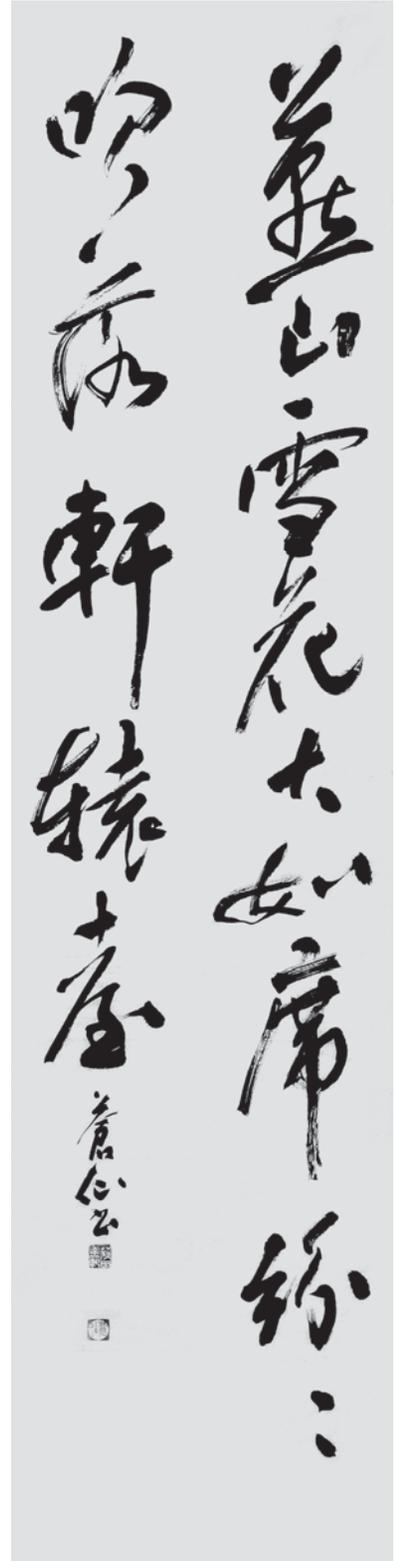
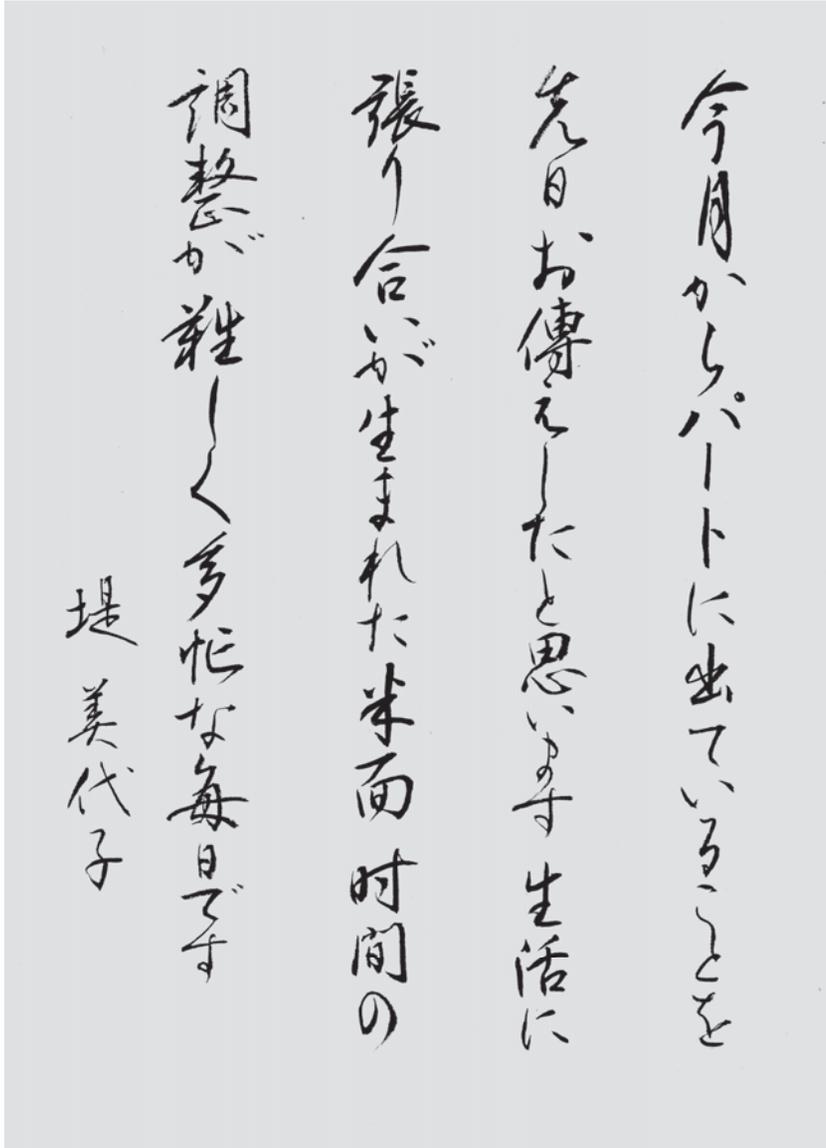
【句意】 閉めきった部屋で木々を渡る風の音に、しみじみと聞き入り、この年のさまざまな思いにふけている。

新入から1級まで

浅井機山先生書

一般部毛筆細字課題

一般部毛筆条幅課題



締切り 十二月十九日 (必着) 半切 (一三六cm×三五cm)

荻田蒼仙書

半紙 (334mm × 240mm)

書 華 玲 田 樋

燕山雪花大如席
 吹落軒轅臺
 [大意] 燕山の花は、席ほど大きく、ひらひら舞い落ちる軒轅台の上に。
 初出品の方へ
 支部名・会員番号・
 姓名・毛筆漢字成績
 を、作品左下に必ず
 お書き下さい。

〔条幅解説〕 太鼓を叩くように打楽器的に起筆を入れる：筆端が捻れて線質が面白い…。線に意を注いだ一年。しかし山の麓、努力不足を反省。

今月からパートに出ていることを
 先日お伝えしたと思ひます。生活に
 張り合いが生まれた半面、時間の
 調整が難しく多忙な毎日です

(ご自分の氏名)

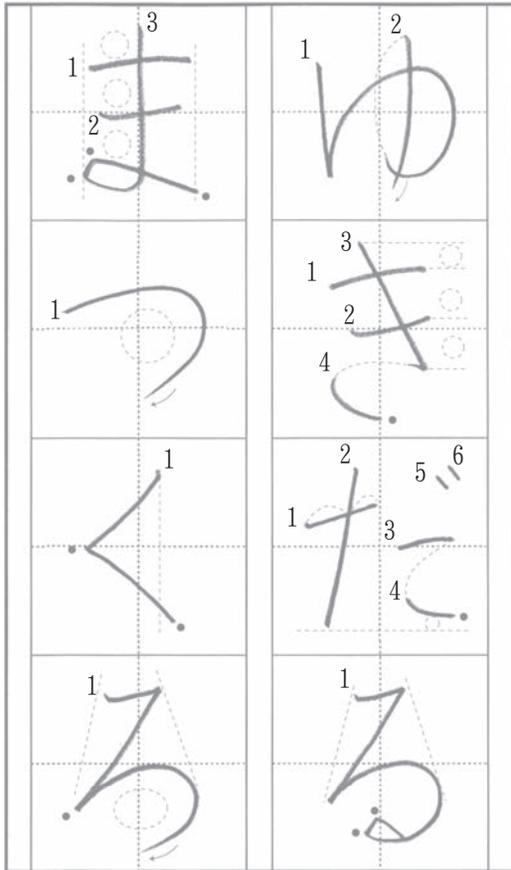
・印で墨つぎしました。

〔条幅・細字作品の出し方〕

- 新入から師範まで、どなたでも出書できます。
- 成績(天位〜5等)は、評価により毎月かわります。
- 書体変換、変体仮名の交換は自由です。

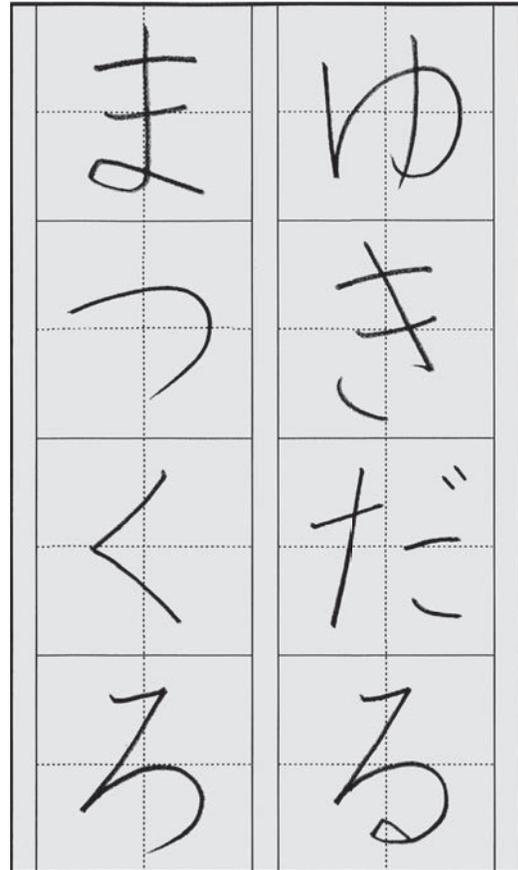
※検定試験三段コースを兼ねる。

〈ようぐ〉自由(黒色にかきこむ)



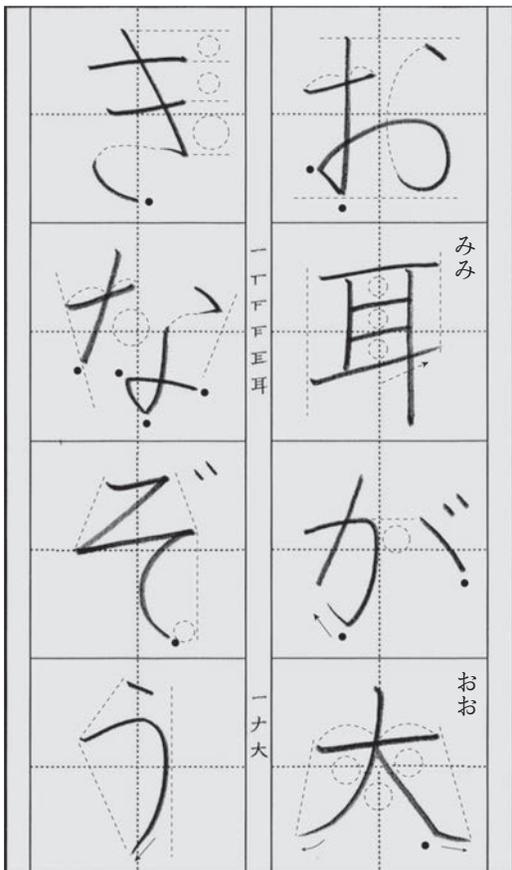
◆ひらがなトレーニング(なぞってかいてみよう)

★新入は、年少・年中・年長の別を記入して下さい。
★幼年は、全員8マス用紙で出書して下さい。



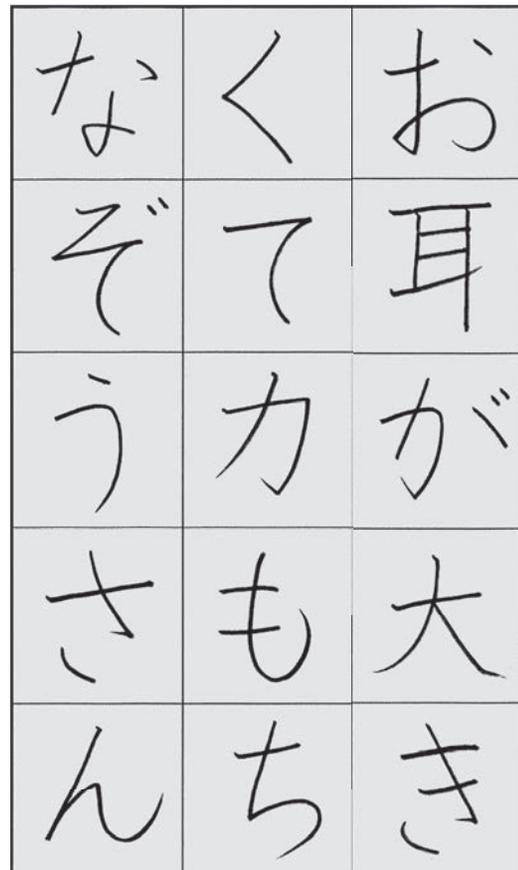
よ
う
年

幼年〜小三年まで
三宅容玉書



新入〜1級

(注)えんぴつ書きでは、消しゴムを使ってはいけません。



小
一
年

準初段以上

小二年

し	母	車
く	さ	の
話	ん	中
す	と	で
よ	楽	お

準初段以上

※母さん＝単語としてこのように読みます。

新入～1級

小三年

と	す	軽
お	い	く
皿	茶	使
買	わ	い
う	ん	や

準初段以上

(注) えんぴつ書きでは、消しゴムを使ってはいけません。

新入～1級

自由(黒色にかきこむ)

母	車
と	の
話	中
す	で

お	茶
皿	わ
買	ん
う	と

小四年

は	け	特
と	で	別
時	最	な
計	新	仕
だ	の	か

準初段以上

※時計＝単語としてこのように読みます。

と	特
時	別
計	な
だ	は

新入〜1級

〈用具 自由 (黒色に限る)〉

小五年

て	を	日
詩	思	常
を	い	の
書	出	情
く	し	景

(全員)

小五以上は、全員15マス用紙で出書して下さい。

思	日
出	常
詩	情
書	景

解説 (よく見て習いましょう)

小四年以上
岡嶋桂川書

〈用具 自由(黒色に限る)〉

肉	人
眼	衛
観	星
測	姿

解説(よく見て習いましょう)

観	姿	人
測	を	工
す	肉	衛
る	眼	星
よ	で	の

小六年

(全員)

跡	議	世
に	な	界
興	古	の
味	代	不
が	遺	思

中二・三年

(楷書)

会	任	父
社	で	は
に	海	単
勤	外	身
務	の	赴

中一年

(楷書)

▼小三年以下の課題 お 小 ざわ さん 三 か 華 書

※今年・一日＝単語としてこのように読みます。

◎お手本はえんぴつ使用

一	が	今	お	明
月	ん	年	め	け
一	ば	も	で	ま
日	ろ	お	と	し
	う	習	う	て
名	ね	字		
ま				
え				




しめきり 12月19日 (必着)

習っていない漢字は
ひらがなで書いてもよろしい。

▼小四年以上の課題 むら い じゅん こう 村 井 淳 光 書

元				賀
旦	い	健	ご	
	た	康	家	
	し	を	族	
氏	ま	お	皆	
	す	祈	様	
		り	の	
名				



◎お手本はつけペン使用

◇作品の出し方

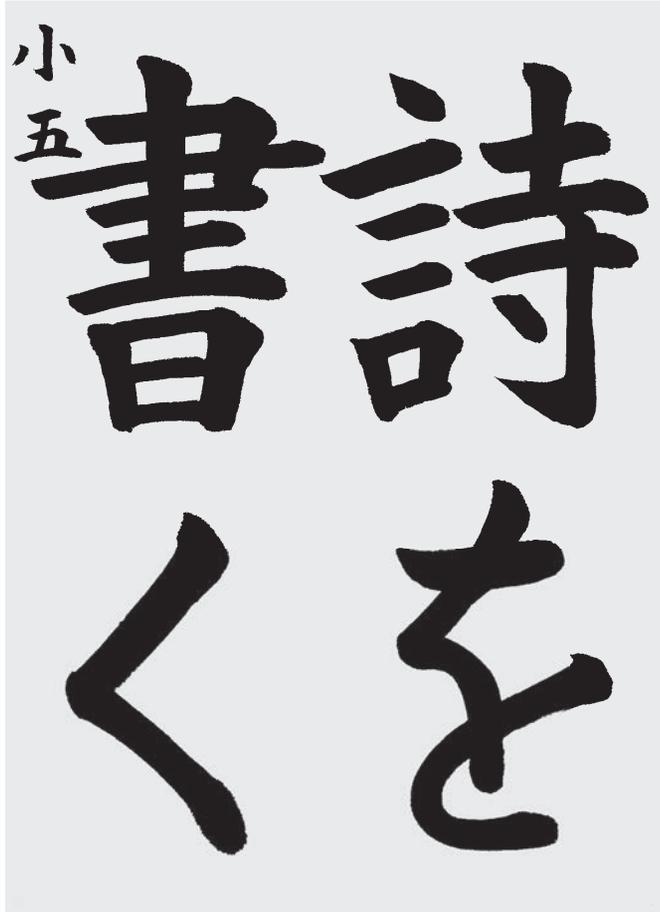
- 一、選定用紙（五行・四行）に書いて下さい。
- 一、作品には、支部名（校名）学年、氏名を書き入れて下さい。
- 一、筆記用具は自由です。（黒色に限る）
- 一、四行用紙を使用してもよろしい。その場合は、文章を適当に短くして下さい。
- 一、成績は評価により毎月変わります。
- 一、支部会員は、出品ラベルを必ず貼って下さい。貼っていない方は新入とみなします。





幼年よ年ねん〜し小せう二に年
玉たま樹き小せう華か書





小三〜小五年
水野の香竹書

中二・三
 遺古
 跡代

小六
 衛人
 星工

小六〜中二・三年
 奥村暢之書

中へんとつくりそれぞれの
 中心に注意

務 衛
 遺 星
 跡 海

中一
 勤海
 務外